

令和 4 年度 水に関するアンケート調査

1. 調査概要

- (1) 調査対象 満 18 歳以上の市民（住民基本台帳より無作為抽出）
- (2) 対象者数 1,000 人
※地域の偏りがないように各地区の人口に応じて各地区ごとに抽出数を定める
- (3) 調査時期 令和 4 年 月 日～ 月 日
- (4) 調査方法 郵便送付（郵便および web による回答回収）

2. 調査目的

水に関する市民の意識を調査し、今後の施策の参考とする。

3. 回収結果

有効回収数 人（回収率 %）

4. 調査項目

- (1) 地下水の保全について・・・（問 1～6）
- (2) 水の利用について・・・（問 7～10）
- (3) 水環境について・・・（問 11・12）

5. 設問一覧表

項目	設問	設問趣旨（調査項目）	
属性	年齢	-	
	性別	-	
	お住まいの地区	-	
(1) 地下水の保全について	問1	あなたは、日常生活で地下水とどのように関わっていますか。	地下水と市民生活との関係性の把握
	問2	あなたは、地下水を守るために、行政がどのような取り組みを行うべきと考えますか。	市民が行政に求める地下水保全の取組
	問3	あなたは、大野市地下水保全条例についてどのようなことを知っていますか。	条例の認知度の把握
	問4	令和3年に水循環基本法が改正され、地下水採取を適正な量に制限する条例を定めることができることが規定されました。こうした中、地下水利用の規制についてどのように考えますか。	地下水採取規制の導入に対する市民の意識調査
	問5	地下水使用者が、その使用量に応じて協力を負担し、それを地下水保全の費用に充てるという制度がありますが、この制度に対してどう思いますか。	協力金制度の導入に対する市民の意識調査 H15 実施済
	問6	協力金の負担割合はどのくらいが適当だと思いますか。	H15 実施済
(2) 水の利用について	問7	あなたは、普段の生活で節水をしていますか。	市民の節水意識調査
	問8	コロナ禍による日常生活や水への意識の変化はありますか。	コロナ禍が水利用に及ぼす影響調査
	問9	住宅の庭先などに雨水貯留タンクを設置することで、散水や花の水やりなど雑用水に活用できるほか、緊急時の生活用水確保などさまざまな効用があります。一方、設置には費用もかかりますが、あなたは、これらの設備を導入したいと思いますか。なお、雨水貯留タンクはホームセンターで1万円台から購入可能です。	雨水貯留タンクの普及促進に関する調査
	問10	あなたは、上水道が整備された場合、加入したいと思いますか。	上水道整備に対する市民ニーズの把握
(3) 水環境について	問11	あなたは、大野市の水や水環境を誇りに思いますか。	市民の水環境に対する定性評価の調査
	問12	あなたは、水と関わる豊かな暮らしとはどのようなものと思いますか。	市民が思う「健全な水循環のまちのイメージ」調査 内閣府世論調査 H26

6. 設問と回答選択肢

(1) 地下水の保全について

問1 あなたは、日常生活で地下水とどのように関わっていますか。(〇はいくつでも)

1. 自家用井戸を利用している。
2. 水道(上水道・簡易水道)を利用している。
3. 自家用井戸と水道(上水道・簡易水道)を併用している。
4. 自宅の水が、どのように供給されているのか知らない。
5. 年に数回は湧水地(御清水や本願清水など)に行くことがある。
6. 地下水を消雪に利用することがある。

問2 あなたは、地下水を守るために、行政がどのような取り組みを行うべきと考えますか。(〇はいくつでも)

1. 地下水の実態調査と分析
2. 真名川の河川流量の増量や河川環境の改善
3. 森林整備、水田に水を貯めるなど地下に水を浸透させる取り組み
4. 節水の取り組み
5. 特に必要ない
6. その他()

問3 あなたは、大野市地下水保全条例についてどのようなことを知っていますか。(〇は2つまで)

1. 条例があることは知っているが、内容は知らない。
2. 抑制地域内で一定規模以上の揚水ポンプを設置する場合、届出が必要であることを知っている。
3. 抑制地域内における地下水での融雪が禁止されていることを知っている。
4. 条例があることを知らない。

問4 令和3年に水循環基本法が改正され、地下水採取を適正な量に制限する条例を定めることができることが規定されました。こうした中、地下水利用の規制についてどのように考えますか。(〇はいくつでも)

1. 地下水は市民共有の財産であるから、規制は必要である。
2. 消雪への地下水利用禁止は必要である。
3. 地下水を多量に使用する事業所などへの規制は必要である。
4. 規制は最小限にすべきである。
5. 規制はすべきでない。
6. その他()

問5 地下水使用者が、その使用量に応じて協力金を負担し、それを地下水保全の費用に充てるという制度がありますが、この制度に対してどう思いますか。

1. 地下水を使用している者が、その地下水保全の費用を負担することは当然であり、節水意識の徹底のためにも協力金の負担は必要である。
2. できれば負担したくないが、地下水保全のための費用に充てるのであればある程度の負担はやむを得ない。
3. いかなる理由があれ協力金を負担することには賛同できない。
4. その他 ()

問6 あなたは、協力金の負担割合はどのくらいが適当だと思いますか。

(別紙「上水道料金表」を参考にして下さい。)

1. 上水道料金のみ
2. 上水道料金の1/2程度
3. 上水道料金の1/3程度
4. その他 ()

(2) 水の利用について

問7 あなたは、普段の生活で節水をしていますか。

1. いつも節水している
2. ときどき節水している
3. 節水は必要と思いながら考えずに使っている
4. 節水のことは気にせずに使っている
5. その他 ()

問8 コロナ禍による日常生活や水への意識の変化はありますか。(〇はいくつでも)

1. 手を洗う機会が増えた
2. 入浴やシャワーの回数が増えた
3. 料理する頻度が増えた(外食が減った)
4. 洗濯する回数が増えた
5. 水拭きする機会が増えた
6. 変わらない

問9 住宅の庭先などに雨水貯留タンクを設置することで、散水や花の水やりなど雑用水に活用できるほか、緊急時の生活用水確保などさまざまな効用があります。一方、設置には費用もかかりますが、あなたは、これらの設備を導入したいと思いますか。なお、雨水貯留タンクは市内のホームセンターなどで〇万円台から購入可能です。

1. 市の補助金がなくても導入したい
2. 半分程度の補助があれば導入したい
3. 3分の2(65%)程度の補助があれば導入したい
4. 4分の3(75%)程度の補助があれば導入したい
5. 導入したくない

※問1で「1」と回答した方のみ回答してください。

問10 あなたは、上水道に加入したいと思いますか。

1. 加入したい。
2. 加入を検討したい。
3. 加入したくない。
4. その他 ()

(3) 水環境について

問11 あなたは、大野市の水や水環境を誇りに思いますか。

1. 思う
2. やや思う
3. どちらともいえない
4. あまり思わない
5. 思わない

問12 あなたは、水と関わる豊かな暮らしとはどのようなものと思いますか。

(○はいくつでも)

1. 安心して水が飲める暮らし
2. いつでも水が豊富に使える暮らし
3. 洪水の心配のない安全な暮らし
4. 身近にやすらぎを与えてくれる水辺がある暮らし
5. 川遊びや魚釣りなど水辺のレクリエーションが楽しめる暮らし
6. その他 ()

7. 「大野市水循環基本計画」と本アンケートの関係性について

計画項	計画記載内容	該当する設問
P41	水に関する 市民意識アンケート を実施し、水文化に対する市民ニーズやその方向性を把握した上で、これからの水文化の在り方について検討を進めます。	全問
P44	条例による新たな枠組での 地下水に関する規制の必要性等について 、他の自治体で運用されている規制の観点や対象行為、規制手法などに関する情報収集を行うとともに、大野市地下水対策審議会で議論し、 方向性を明らかにしていきます。	問 4
P55	（１）施策の効果の評価 施策の効果の評価については定量と定性の両方の視点から総合的かつ多面的に行います。 本計画に基づく取り組みを開始した後、施策の効果の定量化が可能な項目については観測値などにより目標達成の検証を行います。定量化が困難な施策の効果の評価については、主要な施策を抽出し、定性的に実施するほか、 市民アンケートなどで意識調査を行います。	問 11
P58	新たな財源の確保に関する国内の先進事例の把握に努めるとともに、事業所や市民等に地下水の揚水量に応じた協力金の納入を求めることなどを検討するため、協力金の導入などに関する アンケート調査を実施します。	問 5 ・ 6

<問7>別紙 上水道使用料（1か月につき）

用途	基本料金	超過料金（1 m ³ につき）	
家事用	10 m ³ 以下 1,500 円	11～20 m ³ 以下 165 円	20 m ³ 以上 210 円

※1 m³=1,000 リットル

目安金額：3人家族の場合＝約3,000円/月

【前提】

- ・ 大野市の上水道使用料単価で計算
- ・ 1日に平均214リットル/人（令和元年度・東京都水道局調べ）で計算